

山スクール トレッキング 1 A 班実技⑨ 報告書

| | |
|-------|--|
| 山行目的 | 日帰り登山（山スクール トレッキング 1 実技⑨） |
| メンバー | スタッフ 3 名 生徒 5 名 |
| 山域・山名 | 岩湧山 |
| 日程・天候 | <p>2025 年 12 月 20 日（土）</p> <p>9 時：滝畑ダム 晴れ 12℃ 風速 1m 降雨量 0mm</p> <p>12 時：岩湧山 晴れ 11℃ 風速 8m 降雨量 0mm</p> <p>15 時：紀見峠 晴れ 20℃ 風速 1m 降雨量 0mm</p> |
| 山行行程 | <p>9 時 05 分 「滝畑ダム」登山口集合 ストレッチ・装備確認</p> <p>9 時 20 分 「滝畑ダム」登山口出発</p> <p>9 時 50 分 カキザコ</p> <p>10 時 40 分 扇山分岐</p> <p>11 時 25 分 岩湧山山頂到着 昼食</p> <p>11 時 45 分 岩湧山山頂出発</p> <p>12 時 00 分 岩湧山東峰</p> <p>12 時 20 分 五ツ辻</p> <p>13 時 05 分 根古峰</p> <p>13 時 20 分 岩湧山三合目</p> <p>14 時 55 分 紀見峠</p> <p>15 時 25 分 南海「紀見峠」駅 ストレッチ・解散</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <p>岩湧山</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <p>岩湧山山頂からの景色</p> </div> |
| 学び | <p>・地図から現在地を把握するために、鉄塔及び送電線の方向を把握することが重要である。冬の場合は木々の葉っぱが落ちているため、鉄塔や送電線を確認しやすいものの、夏の場合は木々の葉っぱにより遮られ、鉄塔や送電線を見つけにくいことに注意が必要。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <p>見つけにくい鉄塔</p>  <p>見つけやすい鉄塔</p> </div> |

・登山道には、木にピンクテープが結び付けられていることがある。登山道の目印等の目的で結び付けられていることがあるが、木が腐っていることを知らせる目的でピンクテープを木にくくり付けている場合もある。腐っている木は倒木の危険性があるため、腐っている木の近くで休憩せず、速やかに通り過ぎるようにする。



腐っている木につけられているピンクテープ

・岩湧山山頂にはカヤ場（茅葺き屋根に用いられる植物、ススキなど）がある。また、毎年４月に野焼きが行われる。



岩湧山に広がるカヤ場



ハバヤマボクチ

所感

季節外れの高温で、汗をかく場面が多々あった。冬ではあるものの、気温に応じて飲料水を持っていく量や服装を考慮することが必要であることを改めて再認識した。また、今回は比較的ロングコースであったため、目標の時刻までに到着するためのペース配分の重要性を学んだ。そして、残りのコース距離や時間を考慮し、要所でエスケープルートの使用可否を検討することの必要性も学んだ。